

令和2年度肥料の業務報告（令和2年4月から令和3年3月）

1 業務の概要

「肥料の品質の確保等に関する法律」に基づき、県内に生産事業場や販売事業場が所在する業者からの登録・届出業務を行った。また、立入検査を行い、原材料や生産者保証票、登録・届出事項、帳簿の備付け等法令遵守の確認及び指導を実施するとともに、収去した肥料の成分分析による公定規格適合の確認等を実施した。

併せて、令和元肥料年度入出荷量調査及び令和2年肥料生産数量報告により、本県の肥料の流通・生産の実態把握を行った。

2 肥料生産業者及び肥料販売業者からの登録・届出

(1) 普通肥料

ア 県知事登録肥料では新規登録1件、登録更新1件、変更19件、登録失効1件であったため、年度末の登録件数は前年度と同じ43件となった。

イ 指定配合肥料は変更届19件のみで年度末の届出件数は前年度と同じ26件である

(2) 特殊肥料

輸入特殊肥料も含め新規届17件、変更届22件、廃止届45件であった。年度末の届出件数は728件（生産業者数649、輸入業者数12）となった。

新規届の多くは経営移譲によるものだが、団体等の新設農場も見られた。

(3) 肥料販売

平成30年から継続して取り組んでいる、農薬販売店台帳等との照合等による肥料販売業者の現況確認を進めたところ、引き続き肥料取締法で定める手続きを行っていない業者が多数確認されたため、販売に関する届出件数が多かった。

新規届45件、変更届84件、廃止届60件であり、年度末の販売業者届出件数は1,150件となった。

表1 令和2年度の登録・届出件数

普通肥料	県知事登録肥料	新規登録	1
		登録期間更新	1
		変更届	19
		失効	1
		計	22
	指定配合肥料	新規届	0
	変更届	19	
	廃止届	0	
	計	19	
特殊肥料		新規届	17
		うち輸入特殊肥料	0
		変更届	22
		うち輸入特殊肥料	3
		廃止届	45
		うち輸入特殊肥料	3
計	84		
肥料販売		新規届	45
		変更届	84
		廃止届	60
		計	189
合計			314

表2 令和2年度末時点の普通肥料の登録・届出状況

肥料の種類	件数	業者数	
県知事登録肥料	魚かす粉末	1	1
	蒸製骨粉	1	1
	なたね油かす及びその粉末	4	4
	ひまし油かす及びその粉末	1	1
	米ぬか油かす及びその粉末	2	1
	加工家きんふん肥料	1	1
	乾燥菌体肥料	1	1
	混合有機質肥料	2	4
	配合肥料	2	1
	炭酸カルシウム肥料	6	6
	副産石灰肥料	2	2
	計	43	23
	指定配合肥料	26	6
合計	69	29	

※業者数は延べ数

表3 令和2年度末時点の特殊肥料の届出状況

指定名	届出数	業者数
魚かす	0	0
粗砕石灰石	3	2
発酵米ぬか	2	2
発酵かす	2	2
くず植物油かす及びその粉末	1	1
草本性植物種子皮殻油かす及びその粉末	5	4
草木灰	7	3
くん炭肥料	5	5
動物の排せつ物	15	13
うち豚ふん	4	4
うち家きんふん	11	9
動物の排せつ物の燃焼灰	2	2
堆肥	646	596
うち樹皮堆肥	9	5
うちオガクズ堆肥	4	4
うち牛ふん堆肥	487	476
うち豚ふん堆肥	39	36
うち家きんふん堆肥	49	33
うち生ごみ堆肥	7	6
うちその他の堆肥	51	36
貝殻肥料	2	2
貝化石粉末	20	13
カルシウム肥料	4	3
混合特殊肥料	1	1
計	715	649

※業者数は延べ数

表4 令和2年度末時点の輸入特殊肥料の届出状況

指定名	届出数	業者数
魚かす	0	0
甲殻類質肥料	1	1
木の実油かす及びその粉末	3	2
乾燥藻及びその粉末	3	3
骨灰	3	3
動物の排せつ物	1	1
うち蚕ふん	1	1
グアノ	2	2
計	13	12

※業者数は延べ数

表5 令和2年度末時点の肥料販売業者の届出状況

届出数	業者数
1,150件	1,147件

※3業者が重複して届出受理しているため、業者数と届出件数が一致しない

3 肥料の入出荷量（流通量）

- (1) 調査対象：県内卸業者及び県内に複数店舗がある広域小売業者等35業者
- (2) 集計期間：令和元肥料年度（令和元年6月から令和2年5月）
- (3) 結果：令和元肥料年度の肥料入出荷量は約10万2千2百トン（前年比約103%）10万トン台に回復した。
 - ア 普通肥料：全般的に入荷量が減少傾向にあり、特に塩化加里が前年比約57%となるなど、前年比約92%の約8万トンとなった。
 - イ 特殊肥料等：堆肥の入出荷量が前年比約190%となった影響で、前年比約181%の約2万2千トンとなった。

表6 平成30肥料年度及び令和元肥料年度の入出荷量（単位はトン）

肥料の種類		平成30肥年	令和元肥年	前年比(%)	
普通肥料	窒素質肥料	硫 安	1,181.8	1,125.1	95.2
		硝 安	10.2	8.4	82.0
		尿 素	732.8	693.9	94.7
		石灰窒素	1,277.3	1,451.5	113.6
		ホルムアルデヒド [※] 加工尿素肥料	1.1	0.0	0.0
		混合窒素肥料	37.4	17.0	45.5
		その他	358.9	188.6	52.5
		小 計	3,599.4	3,484.5	96.8
	りん酸質肥料	過りん酸石灰	719.7	656.5	91.2
		重過りん酸石灰	95.5	81.7	85.5
		熔成りん肥	1,352.4	1,427.0	105.5
		腐植酸りん酸	5.1	4.6	89.5
		加工りん酸肥料	946.4	639.7	67.6
混合りん酸肥料		141.9	193.4	136.3	
熔成けい酸りん肥		703.6	612.8	87.1	
その他		131.1	4.7	3.6	
小 計	4,095.7	3,620.4	88.4		
加里質肥料	硫酸加里	471.6	281.2	59.6	
	塩化加里	5,047.7	2,893.9	57.3	
	硫酸加里苦土	0.6	1.8	300.0	
	重炭酸加里	7.8	2.5	32.0	
	けい酸加里肥料	719.6	791.8	110.0	
	その他	17.0	15.9	93.7	
	小 計	6,264.2	3,987.1	63.6	
有機質肥料	植物油かす	1,646.3	1,705.5	103.6	
	魚かす粉末	61.8	50.4	81.6	
	混合有機質肥料	318.6	225.4	70.8	
	その他	30.8	17.3	56.2	
	小 計	2,057.5	1,998.6	97.1	
複合肥料	NK化成肥料	730.9	623.0	85.2	
	PK化成肥料	375.4	688.6	183.4	
	NP化成肥料	15.1	16.2	107.5	
	高度化成肥料	17,871.4	14,507.5	81.2	
	普通化成肥料	2,417.9	2,742.7	113.4	
	配合肥料（30%以上）	192.6	297.6	154.6	
	配合肥料（30%未満）	37.3	59.6	159.6	
	成形複合肥料	264.2	188.2	71.2	
	被覆複合肥料	2.5	414.1	16,902.0	
	液状複合肥料	1,329.2	1,455.1	109.5	
	指定配合肥料	32,751.3	30,702.1	93.7	
	その他	124.8	1,205.1	965.5	
小 計	56,112.6	52,899.8	94.3		

肥料の種類		平30肥年	令和肥年	前年比(%)	
普通肥料	石灰質肥料	生石灰	1,304.7	1,463.5	112.2
		消石灰	1,907.9	1,990.5	104.3
		炭酸カルシウム肥料	6,188.3	6,016.4	97.2
		貝化石肥料	116.6	133.4	114.4
		副産石灰肥料	1,181.0	1,125.3	95.3
		混合石灰肥料	1,219.3	934.6	76.6
	小計		11,917.8	11,663.7	97.9
	けい酸質肥料		1,832.4	1,177.1	64.2
	苦土肥料		329.0	242.4	73.7
	マンガン質肥料		83.9	89.0	106.1
	ほう素質肥料		0.1	0.0	92.0
	微量要素複合肥料		14.4	19.3	133.5
	汚泥肥料等		1,025.0	852.5	83.2
小計		3,284.9	2,380.3	72.5	
合計		87,332.1	80,034.4	91.6	
特殊肥料等	堆肥		10,705.1	20,289.9	189.5
	動物の排せつ物等		132.7	444.6	334.9
	貝化石粉末等		581.2	523.8	90.1
	その他の特殊肥料		263.7	305.2	115.7
	小計		11,682.8	21,563.5	184.6
	土壌改良資材等		543.9	581.5	106.9
合計		12,226.7	22,145.0	181.1	
総計		99,558.9	102,179.4	102.6	

注：小数点以下を四捨五入のため、小計及び総計は値を合計したものと一致しない。

4 肥料の生産数量報告

(1) 調査対象

ア 普通肥料 県知事登録肥料 43件 うち報告 43件

指定配合肥料 26件 うち報告 26件

イ 特殊肥料 特殊肥料 619件 うち報告 545件

※原発事故による帰還困難区域及び避難指示解除後の営農再開未確認の特殊肥料及び立入検査等で生産休止中を確認した特殊肥料は肥料を除く。

輸入特殊肥料 14件 うち報告 14件

(2) 対象期間：令和2年1月から令和2年12月

(3) 結果：総生産数量は約20万トンで、前年比約102%となった。

普通肥料の報告率及び輸入特殊肥料の報告率は100%であったが、特殊肥料の報告率は約88%のため、全体の報告率は約90%となった。

ア 普通肥料：普通肥料全体では約2千3百トン弱となり前年比約66%となった。

(ア) 県知事登録肥料：なたね油かす及びその粉末や炭酸カルシウム肥料の生産量は微増したが、その他の種類の生産量は減少し、特に混合有機質肥料が著しく減少したことにより、前年比約60%の約1千7百トンとなった。

(イ) 指定配合肥料：前年比約89%の588トンとなった。

イ 特殊肥料：生産数量の9割以上を占める堆肥の生産量が増加したため、前年比約103%の約20万3千トンとなった。うち、輸入特殊肥料は前年比100%の60

トンであった。

未報告業者74件のうち、過去3か年報告なしが34件、前年度の生産数量報告が千トン未満の業者は25件であった。

表7 本県に登録・届出された肥料の生産数量（単位はトン）

区分	肥料の種類	令和元年	令和2年	前年比 (%)
普通肥料	魚かす粉末	0	0	
	蒸製骨粉	0	0	
	なたね油かす及びその粉末	264	269	102.1
	ひまし油かす及びその粉末	200	187	93.5
	米ぬか油かす及びその粉末	9	6	61.9
	加工家きんふん肥料	0	0	
	副産植物質肥料	0	0	
	混合有機質肥料	1,402	540	38.5
	配合肥料	0	0	
	炭酸カルシウム肥料	122	128	105.3
	副産石灰肥料	772	544	70.5
	小計	2,768	1,674	60.5
指定配合肥料	662	588	88.8	
合計	3,430	2,262	65.9	
特殊肥料	特殊肥料の指定名	令和元年	令和2年	前年比 (%)
	魚かす	0	0	
	粗砕石灰石	153	200	131.3
	発酵米ぬか	3	2	61.5
	くず植物油かす及びその粉末	3	3	110.3
	草本性植物種子皮殻油かす及びその粉末	15	19	128.3
	草木灰	5	4	79.0
	くん炭肥料	31	29	95.6
	動物の排せつ物（豚ふん）	2,966	3,029	102.1
	動物の排せつ物（家きんふん）	6,318	5,287	83.7
	小計（動物の排せつ物）	9,284	8,316	89.6
	動物の排せつ物の燃焼灰	90	90	100.0
	堆肥（樹皮堆肥）	6,933	8,010	115.5
	堆肥（オガクズ堆肥）	1,787	2,044	114
	堆肥（牛ふん堆肥）	138,027	137,694	99.8
	堆肥（豚ふん堆肥）	9,937	12,974	130.6
	堆肥（家きんふん堆肥）	19,278	20,836	108.1
	堆肥（生ごみ堆肥）	2,021	2,111	104.5
	堆肥（その他の堆肥）	5,750	7,103	123.5
	小計（堆肥）	183,732	190,772	103.8
貝殻肥料	180	200	111.1	
貝化石粉末	3,152	2,896	91.9	
カルシウム肥料	1	0	38.3	
小計	196,647	202,532	103.0	

特殊肥料の指定名		令和元年	令和2年	前年比 (%)
特殊肥料	輸入特殊肥料	0	0	
	甲殻類質肥料	0	0	#DIV/0!
	乾燥藻及びその粉末	0	0	
	骨灰	0	0	
	動物の排せつ物（蚕ふん）	0	0	
	グアノ	60	60	100.0
小計		60	60	100.0
合計		196,707	202,592	103.0
総計		200,137	204,854	102.4

注：小数点以下を四捨五入のため、小計及び総計は値を合計したものと一致しない。

5 肥料の立入検査及び指導事項

普通肥料は、県知事登録肥料について原材料・生産者保証票の確認を中心に行った。また、収去を行い、保証成分の確認を実施した。

特殊肥料は、帳簿の備付けや表示の添付を中心に指導した。また、生産量の多い肥料を中心に収去し、表示票の成分表示と成分含有量の差異を確認した。

肥料販売業者については、連絡の取れない業者中心に実施した。

検査結果に基づく行政指導はなく、口頭指導等のみであった。

また、肥料の品質の確保等に関する法律第26条及び農薬取締法における疑義資材に抵触するおそれのある表記の確認のため、東北農政局福島拠点に3件情報提供をした。

(1) 普通肥料

県知事登録肥料で3件実施し、1点収去した。

保証票等に不備はなく、収去品の分析結果は合格であった。

(2) 特殊肥料

74件実施し、帳簿や表示の不備等について指導を行うとともに、10点の収去を行った。また、収去品の分析結果に基づく表示票の記載内容修正の指導も行った。指導内容及び件数は下記のとおり。

ア	届出の不備	7件	
イ	帳簿の備付けの不備	5件	
ウ	表示の不備	27件	(延べ件数)
	うち表示なし	18件	
	うち表示内容の不備	12件	

(3) 肥料販売業者業者

音信不通業者を中心に3件実施した。

表8 月別肥料立入検査実施状況

年・月	区分	普通肥料	特殊肥料	肥料販売	月計 (件)
		うち収去点数()	うち収去点数()		
令和2年	4月				0
	5月				0
	6月		9 (7)		9
	7月	2 (1)	6		8
	8月				0
	9月		13	1	14
	10月		18 (3)		18
	11月		3		3
	12月		16		16
	令和3年	1月			
2月					
3月		1	9	2	12
計		3 (1)	74 (10)	3	80

表9 収去肥料検査結果

区分		件数
普通肥料	収去点数	1点
	うち正常でないもの	0点
	重量検査	0件
	うち正常でないもの	0件
特殊肥料	収去点数	10点
	うち表示の修正を要するもの	7点

表10 収去肥料の内訳

区分		
普通肥料	普通肥料の種類	件数
	混合有機質肥料	1点
特殊肥料	特殊肥料の指定名	件数
	草木灰	1点
	堆肥 (牛ふん堆肥)	2点
	堆肥 (豚ふん堆肥)	1点
	堆肥 (家きんふん堆肥)	2点
	堆肥 (その他)	4点

表11 収去肥料の成分分析点数

区分	窒素全量	リン酸全量	加里全量	アルカリ分	有機炭素	亜鉛全量	銅全量	水分
普通肥料	1	1						
特殊肥料	10	10	10		9	2	1	10

表 1 2 特殊肥料の立入検査の内訳

指定名	魚かす	1 件
	粗砕石灰石	2 件
	発酵米ぬか	1 件
	発酵かす	2 件
	草木灰	1 件
	くん炭肥料	1 件
	堆肥	6 0 件
	貝化石粉末	6 件